

手稲の風と共に

【発行】

令和6年(2024年)3月28日

北海道札幌手稲高等学校

今春の国公立大学への現役合格者は**167**名！
～ 大幅増！ 生徒の素直さと先生方の情熱が奏功 ～

【国公立大学】

北海道大学
室蘭工業大学
釧路公立大学
旭川市立大学

小樽商科大学
北見工業大学
名寄市立大学

14名
5名
6名

北海道教育大学 33名
札幌医科大学 2名
公立千歳科学技術大学 6名

帯広畜産大学	2名
札幌市立大学	1名
公立はこだて未来大学	7名

【道内国公立大学合計 110名】

弘前大学
山形大学
電気通信大学
静岡大学
山口大学
横浜市立大学
大阪公立大学

岩手大学
福島大学
新潟大学
奈良女子大学
琉球大学
都留文科大学
公立鳥取環境

3名
1名
3名
1名
1名
1名
学1名

東北大学	1名
茨城大学	6名
金沢大学	2名
和歌山大学	1名
高崎経済大学	2名
名古屋市立大学	1名
広島市立大学	1名

秋田大学	1名
埼玉大学	1名
信州大学	3名
鳥取大学	1名
東京都立大学	1名
愛知県立大学	2名

【道外国公立大学合計 57名】

【道内私立大学】

札幌大学、札幌学院大学、札幌国際大学、藤女子大学、北星学園大学、北海学園大学、北海商科大学、北海道医療大学、北海道科学大学、北海道情報大学、北海道武蔵女子大学、酪農学園大学、北翔大学、北海道文教大学、天使大学、札幌大谷大学、札幌保健医療大学、千歳リハビリテーション大学、日本医療大学、東海大学札幌キャンパス、北海道武蔵女子短期大学

【道外私立大学】

東北福祉大学、青山学院大学、学習院大学、慶應義塾大学、秀明大学、聖徳大学、大東文化大学、専修大学、大正大学、中央大学、東京工芸大学、東京成徳大学、東京電機大学、東京福祉大学、日本大学、立教大学、法政大学、獨協大学、関西学院大学、同志社大学、関西大学、近畿大学、京都女子大学

【準大学・専修・各種学校等】

防衛大学校、三草会札幌看護専門学校、北海道歯科衛生士専門学校、札幌歯科学院専門学校、
北海道医療専門学校、北海道医療センター付属札幌看護学校、光塩学園調理製菓専門学校、
東関東馬事専門学校、自衛隊航空学生

～令和6年3月22日現在～

～令和6年3月22日現在～

皆様方におかれましては、日頃より本校の教育活動推進に多大なるご理解とご協力とご理解を賜り深く感謝申し上げます。

昨年、母校である札幌手稲高に赴任し1年が経過しようとしています。生徒時代過ごした手稲高の周辺は、これでも住宅化、都市化が進み、手稲高名物とも言える強い風も以前に比べると優しくなった印象です。一方、私たちを俯瞰的に見つめる手稲山とそこで過ごす生徒の素直な教員の熱意溢れる指導は、全く変わっていないことをつくづく感じる一年でした。

本校は、今年50周年を迎えます。学校を人に例えるなら、勢いで押し通すほど若くはなく、職場や家庭において責任の重さを実感する頃ではないでしょう。か。おそらく、多少の差はあれ本校の保護者と手稲高は、ほぼ似たような歴史を辿っています。人生100年時代が到来し、未来の不透明感が益々進み、どうにかなるだろうと楽観的に思う反面、その時々、課題に対応する力が自分にはあるのか不安にもなります。手稲高もこれから100年に向け、時代の潮流をしっかりと捉え、新たな時代を歩む生徒達が身につけなければならぬ資質や能力を身に付けさせているだろうかと自問自答し、時には勇気をもって、挑戦や変革をしなければなりません。今後とも、生徒や保護者、地域の更なる発展に尽力する所存です。

そのような混沌とする時代において流行を感じ取りながらも、学校においても人においても変わらぬ「軸」となるものが真価を問われる時代でもあると思っています。「軸」でしか、本当の困難を乗り越えることは、なかなかできません。時間をかけず身にまとった知識や流行ごとではなく、苦勞して時間をかけて積み上げたものが最後の最後頼りになることを我々親世代は学んでいます。そのことは不易であると信じています。

手稲高初代校長である林信義校長は、本校の教育活動の中心は知的教科指導であるが、単なる知識だけのなく、学習を通して人として必要な資質を高めることと教育目標を掲げています。今なおその目標は本校の原点であり、校訓の「継続は力なり」とともに大切にしなければならぬ手稲高のアイデンティティです。

時に手稲高は、オールドスタイル、保守的な学校に映る評価もありますが、朴訥に生徒を伸ばす学校のアイデンティティを失わず、不易と流行両面に大切にしながら、生徒・保護者・地域の期待に応える学校として今後とも邁進して参りますので、何卒ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校長 久保 肇

「手稲高校のアイデンティティとは」

後期の学校生活を振り返って



3年受験期のメンタルヘルス



中高生によるサイエンス広場



2年学び探究ゼミ 1



2年学び探究ゼミ 2



1年インターシップポスター



NIE新聞コンクール表彰



1年代表 探究チャレンジ 石狩



1-2 国語研究授業



球技大会 1



球技大会 2



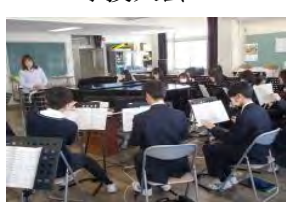
雪像コンテスト優勝作品



生徒総会



P T A 社会見学旅行



音楽授業参観



美術授業参観



書道授業参観

生徒主体の「学校説明会」好評!

猛暑のため、8月予定だった「学校説明会」を10月14日(土)に変更して中学3年生及びその保護者対象に実施しました。学校紹介や進学実績、部活動見学、卒業生からのメッセージを届けるなど、生徒主体の説明会に656名もの参加申込みがありました。参加者アンケートからもその充実ぶりがはっきりと見て取れました。



2年見学旅行(4泊5日)

10月20日(金)~24日(火)京都・奈良・姫路・広島を中心とした4泊5日の見学旅行に行きました。インフルエンザの流行期と重なり、対応に苦慮する場面もありました。参加した2年次生は、それぞれの見学地で日本の歴史や伝統文化に接し、自分の将来の生き方を考えるきっかけとなりました。



卒業☆267名

3月1日(金)卒業式挙行。コロナウィルス感染拡大で生徒と教職員のみで行った入学式とは違い、多くの保護者に見守られながら、267名の生徒が学び舎を巣立って行きました。



令和5年度の学校評価(後期)・いじめ・体罰調査結果

学校評価がまとまりました。中間報告の時と大きな差はなく、概ね高評価をいただいています(HP参照)。保護者の皆様や学校評議員からいただいた意見や要望は、全教職員で共有し、検討させていただきました。本校の年度末反省では、これらを議論し、令和6年度の学校運営に反映させていくこととなりました。特に、①施設や設備などの教育環境の整備、「暑さ対策」については、道教委から示された簡易型空調機器設置に向け、準備を始めるとともに、夏休み延長を決定し、行事等の見直しを行いました。②ICTの活用は、校内研修を通して、より効果的な方法を進めていきます。③学習と部活動の両立は、進学講習・部活動ともに学校生活の根幹に関わることから、慎重に、また棲み分けをしながらより良い方向を探ってまいります。

本校では、「北海道いじめ防止基本方針」を踏まえた取組として、年3回の「学校生活アンケート」を実施するとともに、いつでも相談できる「教育相談フォーム」を開設し、いじめの未然防止と早期発見及び教育相談体制の充実に努めております。相談内容により、いじめ対策組織が中心となって、対応を協議し、今年度は「年次集会」を開いて生徒に考えさせることも行いました。今後も引き続きいじめに対する組織的な対応を心がけ「いじめは絶対に許さない」を徹底していきます。

体罰アンケートでは、教員の不適切な言動への指摘が数件ありました。指摘を受けた教員は当然のことですが、個々のものにならないよう職員会議で注意すべきことを取り上げ、改善点を列挙し、生徒の尊厳を大切にした教育活動にあたることを確認しました。

高校生対象「教員養成セミナー」ICTを活用し6回開催

北海道教育委員会主催で高校生が教職や教員養成大学への進路に関心を持つことができるよう次のような計6回の取組が今年度初めて開催されました。1年39名、2年3名、3年10名の参加申し込みがあり、zoomによる配信で「教員体験」を行いました。

- ①全体会「教職のやりがい」をテーマとしたシンポジウム
- ②座談会「高校生と教員のフリートーク」
- ③全体会「大学生とファシリテーターのトークセッション」
- ④座談会「高校生と大学生のフリートーク」
- ⑤学習指導体験「子どもへの説明や言葉かけを考える」
- ⑥生活指導体験「学校での生活場面を想定した子どもへの言葉かけを考える」



教員インターンシップ

コロナ禍でインターンシップ等が開催できなかった2年次を対象として、近隣校との「高校生による教員インターンシップ」を実施し、希望者8名が参加しました。中学校3年生にリモート形式で「受験期の心構え」を話したり、一緒に給食を取りながら雑談をしたり、それぞれ2日間の研修でしたが、本人の充実感だけでなく、先方の小中学校からお褒めの言葉や感謝の電話をいただきました。

お世話になった学校
南線小学校
樽川中学校
花川南中学校



1年次 インターンシップミッション

今年度、2019 年以來の1年次生全員を対象とした「インターンシップ」を実施しました。コロナ禍により事業所への訪問が叶わず見送ってきましたが、10月12日(木)各事業所に生徒が訪問し、見学&体験をさせていただきました。また、各事業所で体験させていただいた報告会を「ポスターセッション」という形で11月9日(木)本校体育館で行いました。15事業所26名の方と保護者21名の参加の中、生徒はそれぞれの場所で学んできたレポートを自分自身の言葉でアウトプットし、働く意義やこれからの自分の生き方をしっかりと捉え、進路の道標として考える大変貴重な機会となりました。



【北のアトリエ (モリモト)】



【AIRDO】



【NHK 札幌放送局】



【石狩市役所 高齢者支援課】



【手稲警察署】



【勤医協中央病院】



【酪農学園大学】



【(株) I-PRO】



【手稲中央小学校】



【benbeya】



【北洋銀行】



【札幌出入国在留管理局】